めいろうこどもえん 4月園だより

２０１７年度 年主題 〈愛されて育つ〉

0･1･2歳児４月主題 「であう」

月のねがい

◎保育者の祈りを通して神様と出会う
◎新しい環境や保育者に親しみを感じる
◎保育者に守られて安心して過ごす

3･4･5歳児４月主題 「出会う」

月のねがい

◎祈りを通して神様と出会う
◎保育者にあたたかく受け入れられ、安心して過ごす
◎保育者と保護者が信頼関係を築く

今月の聖句

「わたしは、よみがえりです。いのちです。」

ヨハネ 11:5

今月のテーマは「いのち」です。フィジカルないのちには限界がありますが、霊のいのちは永遠です。人はだれもいつかは肉体の生活が終り、霊的な世界に移されます。しかし、その個人個人の霊魂は永遠に存在します。創造主である神とともに過ごします。「ひと神の民となり、神ひとともにいます」（黙示録21章）と約束されています。また、霊の世界は飲食ではなく、喜びと感謝の世界。病や苦しみもなく、神を讃め称えつつ過す世界です（ローマ人への手紙14章）。その保証として、キリストさまは十字架に懸かり、石の墓に葬られ、三日目に復活してくださいました（復活祭をイースターとも言います）。

4月は新入学･新入社の季節。また、復活祭を祝う季節でもあります。卒園された皆さんは1年生となってそれぞれの学校へ入学し、新しい友だち、新しい先生と出会います。社会人となって新しい職場に入る人もいます。新しい家庭を築く人もいます。人それぞれの生業が神様に祝福され、守られますようにお祈りします。そして、永遠の命を信じ、人生の完成に至らせて下さる神のご計画を信じて歩みましょう。
長い眠りから覚め、桜や百合の花は私たちに命の永遠性を教えてくれるようです。

前理事長　池田公榮

４月の行事予定

７日（金）	始園式（1号:午前保育）
８日（土）	第６０回入園式
10~14日	新入園児午前保育（1号）
１２日（水）	田植え
２２日（土）	親子遠足，父母会総会
２８日（金）	交通安全教室

５月の行事予定

６日（土）	弁当日
８～19日	家庭訪問
１５日（月）	内科検診
１６日（火）	４・５・６月誕生会
〃	給食試食会（こすもす・すみれ）
１８日（木）	〃　（たんぽぽ）
３０日（火）	消防署見学(たんぽぽ・こすもす)･弁当日
３１日（水）	〃　（すみれ・あじさい）

新入園の保護者の皆様へ

初めてお母さんと離れての新しい生活は、入園当時の幼児にとっては、とても大変なことです。幼児たちが慣れるまで１週間ほど、疲労を考えて午前保育となります。帰宅しましたら、矢継ぎ早に園の様子を聞くのではなく、お子さんが落ち着いてから少しずつ聞いてください。分からないこと、不安に思うことがありましたら、気軽に職員に声をかけて、お子さんの様子などお聞きください。

また、睡眠も十分にとって、朝も、「いっぱい遊んでおいでね！」と送り出してあげてください。お子さんの体調や心配事など遠慮なく、連絡帳や電話で担任にお知らせくだされば幸いです。

ようこそ!めいろうこどもえんへ

今年度もいよいよスタートしました。3月に卒園生の別れがあり、なんだか寂しい日々でしたが、入園してきたお友だちとの新しい出会いもあり、少し元気が出てきたこども園です。

さて、3月に恒例のキリスト教保育連盟の研修会がありました。今年度は臨床心理士の児玉さら先生の講話でした。その中で、いつも頭の片隅に入れておこうと、とても印象に残った話がありました。「叱るよりも褒める方が良く、それが「自分で生きていく力」を伸ばすことに繋がる」とのことでした。叱らないといけない場面は絶対にありますが、あらゆる面からみても、褒める方が断然良いのだそうです。また、怒ってしまう時は、疲れが溜まっている時で、自分はどのようなときに余裕がないのか、自分をまずよく知っておく事が大事なのだとも言われました。6秒間を開けたら、落ち着いて冷静になれるのだそうです。早速チャレンジです！！

さあ！いよいよ今年度もスタートしました。一日も早く、子どもたちにとって居心地の良い場所ができるよう、心から願い支えてまいります。至らない所ばかりだと思いますが、何でも遠慮無くお伝え下さい。楽しいこと大好き！子どもたち大好き！元気だけが取り柄！（笑）のめいろう職員です。どうぞ一年間宜しくお願い致します。

森　山

二〇一七年度を迎えて

時折肌寒さを感じながらも、春の爽やかな風が心地よく頬を撫でていきます。いよいよ四月を迎え、また新しい一年の歩みが始まります。ご入園・ご進級おめでとうございます。卒園生を送り出し、暫く寂しい思いをしておりましたが、今年も愛らしい子どもたちとの出会いを与えられ、心から感謝しております。

本年度の年主題は「**愛されて育つ**」です。乳幼児期は、人格や情緒の安定といった目に見えない内面の育ちが大切だと思います。ありのままの自分を無条件で受け入れてくれる大人が側にいること。あそびや活動を通して信頼できる友だちや保育者と出会うこと。「それいいね！」と穏やかな眼差しで、支えられ励まされること。ひとり一人は違っていてもいいんだということを知ること。…「愛されて育つ」ことは、これらを通して、「**自分は愛されるために生まれてきたんだ！**」と実感できることだと信じます。喜びや希望が培われる過程に目を注ぎ、内側に育まれる宝物を皆さんと分かち合いたいと願っております。

集団生活を初めて経験する子どもたちにとって、こども園は期待と不安の混じったものでしょう。そのような中で、あるがままの自分が受け入れられ、大切にされていると感じる時、子どもたちの心は安定し、喜びと希望のうちに「生きる力」を発揮できると考えています。幼児期にこそ経験しなければならないこと、たくさんのあそび、自然の不思議さ、他者との相違や葛藤、そして大切なものは目に見えないということ。神さまに生かされて、”自分”をしかっりと生きていけるよう祈りつつ、保護者の皆様と共に子どもたちに寄り添って歩んでいきたいと考えております。不思議だなと感じること。明日もまたやりたいという意欲や探究心を大切にしていきたいと思います。今年もキャッチフレーズは、「**タイケン・タンケン・タイヘン**」です。家庭では味わうことが少ないダイナミックな体験。未知の世界へ興味・関心を寄せる探検。そして、人としての成長に欠かせない困難や挫折を伴う少しだけ大変な経験なのです。

四月は出会いの月。人は、どのような場所で、どのような人と出会い、どのような決断をしていくかで、その後の道程が決まるのかもしれません。集団生活を初めて経験する子どもたちにとって、園生活は期待と不安の混じったものでしょう。いつも神さまに愛され、生かされている”自分”をしっかりと生きていけるよう祈りつつ、保護者の皆様と共に心を込めて寄り添っていきたいと考えております。創立六十年目を迎える本年度も、職員一同心を尽くして努力して参りますので、ご支援の程を宜しくお願いいたします。

園　長

キリスト教保育とは

乳幼児期は人間の生涯の基礎が形成される時期で、この時に培われたものが生涯の生き方の基板となると言われています この大切な時期の子どもたちの成長に関わりを持つ保育者とて、使命の重さを思わずに入られません。

キリスト教保育では、子どもも大人も神によって創造され生命を与えられた、一人ひとりがかけがえのない存在であり神の恵みの中に生かされていると考えられています。

目に見えない神の愛を子どもたちに知らせるのは大変難しことですが、キリスト教保育を通して、見えない神の恵みをじ、神の導きに信頼して幼児なりの思いを持つことができるうになるのです。

乳幼児期は親や保育者のあたたかな愛ある養護を受けるこによって、信頼感が芽生え安定します。このような安定感は集団生活での友だちや周囲の大人たちとの人間関係にも影響し人に愛され受入れられていることによって、互いに愛し合うわりの世界を経験し、神の愛を知る素地が養われていきます。

キリスト教保育の目的は、神に愛されている自分を知り、の愛に応答して生きるものとなると共に、他者もまた神の愛れる存在であることに気づき、よき隣人として生活できるよになることであり、「生活のすべてを通して伝えられていくということができます。

抜粋

『新・キリスト教保育者必携』より

新制度における注意点

○１号認定こども：３歳以上の教育標準時間利用のこども
２号認定こども：３歳以上の保育標準時間利用及び保育短時間利用のこども
３号認定こども：３歳未満の保育標準時間利用及び保育短時間利用のこども

○保育料・・・各家庭の市民税所得割額に対応した利用料となります。１号認定では小学校３年までの兄姉がいる場合は、在園長子は半額、在園次子は無料となります。２号・３号認定では、在園児のみの次子から半額、無料となります。なお、すべての認定で、本年度から年収３６０万円未満の世帯は、兄姉の年齢制限が撤廃され、その中の１人親世帯は在園長子は半額、在園次子は無料となるなど拡充されました。

○給食費
１号認定は給食実費全額、２号認定は主食分の実費が必要となります。

○一時預かり（幼稚園型）
市の「地域子ども・子育て支援事業」としての従来幼稚園で実施していた在園児の預かり保育です。

○満３歳児の扱い
満３歳到達前に１号もしくは２号の選択確認手続きをしていただきます。

○放課後児童クラブ
小学校１年生から６年生までの学童に対する放課後健全育成活動を市より委託されています。２０名定員。

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

4月園だより

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん